



発行: 社会福祉法人やまねっと

<http://main.yamanet.jp/>

〒242-0028 大和市桜森3-4-2 大和泉の森作業所内 TEL 046-282-9018

社会福祉法人やまねっと10年目

理事長 薄葉 雄一

平成25年(2013年)2月1日に社会福祉法人登記を行ってから、やまねっとは10年目に突入しました。もともと大和市の地域作業所で出発した7事業所がNPO 法人大和障害者地域生活支援ネットワークとして一緒になり、その後社会福祉法人となったものです。自立支援法が成立し、国の障害福祉サービス事業参入が容易になり、また社会福祉法人の設立要件も大きく緩和されるなどめまぐるしく障害福祉制度が変わっていく中で、利用者、ご家族そしてスタッフが長く安心して活動できるよう選択したのが社会福祉法人化でした。

大和市に地域作業所第1号ができたのが昭和58年(1983年)。民間社会福祉法人が、市内に通所授産施設をオープンさせたのもこの年。今から39年前のできごとです(ちなみに東京ディズニーランドもこの年オープン)。

無認可の地域作業所として、当時からボランティアあふれるスタッフとご家族みんなで、それぞれ小規模な事業所ですが、活動を行ってきました。組織が大きくなり、社会福祉法人に対する指導やコンプライアンスも複雑になってきましたが、グループホームも合わせて30名の方が利用するなど、一步ずつ前に進めているかと思えます。まだまだ至らない点多々あること承知していますが、今後とも社会福祉法人やまねっとをよろしくお願ひします。

新成人おめでとうございます!

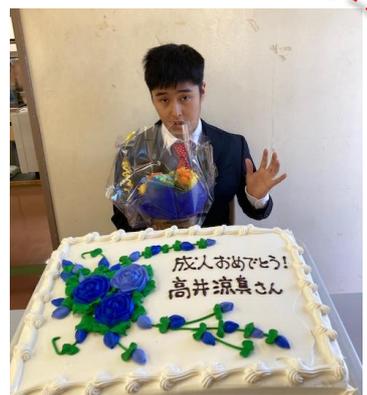
今年成人を迎えた方をご紹介します



さくら作業所
坂口 友紀
(さかぐち
ともかず) さん

「成人になったので、更に作業を頑張ります!そして!芸も更に極めます!」

福田作業所
高井 涼真(たかい
りょうま) さん
「涼真さんは福田作業所に入ったスーパーキーで、今はすっかり落ち着いている先輩方の中でピカイチの動きを見せてくれています。これからも色々な経験をしてたくさん笑って過ごしましょうね。」



～コロナ禍における事業所の取り組み～ (さくら作業所)

コロナ禍のため、外での行事ができない中、2021年の忘年会を各作業所で考え、皆さん楽しい時間を過ごしたかと思えます。その中で今回は、さくら作業所の忘年会をピックアップします。

さくらでは、毎年忘年会はカラオケが恒例です。今回も皆さんからの熱烈なリクエストがあり、“さくらダジュール”をオープンしました。皆さんマスク着用のもと、好きな曲を熱唱し、とても楽しいひとときを過ごしました。

また、ランチには“Canvas”という大和駅近くのお店でテイクアウトをし、“大人のお子様ランチ”をテーマにお願いしました。かなりボリュームーかつ「おいしいね♡」がたくさん聞こえてきました。デザートには手作りのチョコムースを食べ、こちらもまた皆さんに好評でした。

※写真撮影時のみマスクを外しております。



年末たすけあい募金

10月に行われる赤い羽根共同募金が台風の為に開催できなかったため「年末たすけあい募金」として12月3日の金曜日に中央林間駅にて各事業所が時間ごとに交代し活動しました。コロナ禍において大きな声でとはいきませんが、皆さん熱心に募金への協力の呼びかけを行いました。



※写真は最初の時間帯を受け持った大和つきみの作業所のメンバーです。

新任職員研修

今回の研修は新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、日程を3回に分けてやまねっとほーむ林間・桜ヶ丘を会場にしての開催となりました。感染防止対策としてパーティーを置き、少人数で行いました。理事長より法人沿革や支援員としての心がけ、姿勢等の話があり、耳を傾けながら日頃の支援について質問したりと普段なかなか会えない職員の交流の場になりました。

広報・研修委員会：上田史夫（大和泉の森作業所）、工藤由紀（大和みつば作業所）、森麻子（大和さくら作業所）、豊田浩司（大和福田作業所）、吉田一貴・二見潤（大和つきみの作業所）